

鹿屋市立西原台小学校 学校だより 1月号 令和5年1月31日

教育目標

夢を一緒にかなえよう

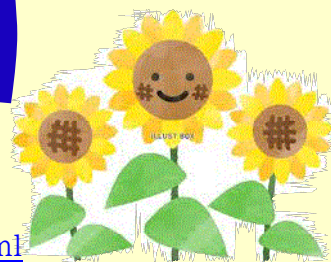
～気付き・考え・高め合う～

# ひまわり

住所：〒893-0057 鹿児島県鹿屋市今坂町12560-2

電話：0994-44-8725 FAX：0994-40-1220

HP：[//www.edu-kanoya.net/edu/nishiharadai/es/index.html](http://www.edu-kanoya.net/edu/nishiharadai/es/index.html)



## 強く 正しく たくましく

校長 田中 雄志

10年に1度の寒波に見舞われた1月下旬。全国や県内の各地で、降雪や路面凍結による事故や公共交通機関の運転見合わせ、道路の通行止めや渋滞、農作物への被害等々が発生しました。鹿屋市でも雪が舞い、寒風が吹き荒れました。そんな凍てつくような寒さの中、元気だったのは子どもたちです。学校内のあちこちを走り回り、雪や氷、大きな霜柱を見つけては、大はしゃぎする子どもたち。学校の観察池に張った厚さ1cm近い氷を満面の笑顔で手を真っ赤にしながら大事そうに持っている子どもも。なんとたくましいことでしょう。寒さに負けず元気に遊ぶ子どもたちの姿を見ると、なんだかほっこりと温かい気持ちになってきました。

雪や寒波は、多くの大人にとっては様々な被害や迷惑をもたらす厄介ものですが、子どもたちにとっては自然がくれたプレゼントと言えるかもしれません。四季折々の自然の厳しさに耐えたり、自然を楽しんだりすることは、子どもたちにとっては大事な学びです。西原台小学校の校訓である「強く 正しく たくましく」にもつながっていくことだと思います。

例年、寒さのピークは立春の頃になるようです。まだもうしばらくは寒さが続くと思いますが、厳しい冬の寒さにじっと耐え、春には美しい花を咲かせられるように、子どもたちにもがんばってほしいと思います。

さて、今年の干支は、うさぎです。ふんわりとした存在感と愛らしい長い耳、かわいらしい見た目で、幸せな気持ちにさせてくれるうさぎですが、古くから縁起のいい意味の象徴として使われてきました。長い耳は、情報収集能力の高さをイメージし、福を集めたり商売繁盛などの運気を上げたりといった意味で使われることも多いようです。子だくさんであることから子孫繁栄の象徴にもなっており、安産などのご利益があるとされてきました。また、ぴょんぴょんと飛び跳ねる姿が「飛躍」をイメージさせ、険しい道や上り坂でも難なく飛び越えていく姿から、物事が順調に進む様子や人生の向上などを表しているそうです。さらに、満月といえば「うさぎの餅つき」のイメージもあり、古くから月との関係も深いうさぎは、「ツキ（月）を呼ぶ」として、縁起のいい動物という扱いを受けてきたそうです。

うさぎ年のこの1年、ぴょんぴょん跳びはねるうさぎのように勢いよく、元気よく目標に向かってがんばっていきましょう。

